

大阪Reportレポート



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 15 (2023. 8. 2)

関西の今<トピックス>

- <2025年大阪・関西万博> 未来社会のショーケース事業 <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・未来社会ショーケース事業出展「スマートモビリティ万博」「デジタル万博」「グリーン万博」の11事業13社を決定、岩谷産業は会場を結ぶ水素燃料電池船の旅客運航、エア・ウォーターは会場内から排出されるCO2を回収しドライアイスを作るCO2回収装置の事業を展開。
 - ・大阪府が万博開催期間中に府内で宿泊する修学旅行生らの宿泊税（1人1泊7000円以上で100～300円徴収）を免除する方針、今後の府議会に改正条例案を提出する予定。
- <観光> 暑い夏、三大祭「祇園祭」「天神祭」の完全復活で賑う街
 - ・日本三大祭りの「京都祇園祭」「大阪天満宮天神祭」が、「山鉾巡行」や「船渡御」などが4年ぶりに完全復活で開催、街が人で溢れた。来年1月には、震災追悼で始まった光の祭典「神戸ルミナリエ」の4年ぶり開催も決定。
 - ・10年に1度とも言われる暑い夏、枚方市では7/28に今年の全国最高となる39.8度を記録。
 - ・6月訪日客が、207.3万人とコロナ後初の200万人超、上期（1～6月）累計も、1071.2万人と1000万人を突破、関西空港の国際線の外国人旅客数も109万人と100万人を超えた。
 - ・来年110周年を迎える宝塚歌劇団が、名作「ベルサイユのばら」の10年ぶり上演を発表。
- <産業・経済> パワー半導体増産の新工場の大規模投資
 - ・中国をはじめ世界経済の減速で半導体市況の回復が遅れる中、ロームや住友電工などはEV向けの需要が拡大しているパワー半導体増産のため、国内新工場建設といった大規模投資を発表。
 - ・マイクロソフトが世界5つ目で国内初となるAIなどを活用した企業のデジタル化拠点を今秋に神戸市に開設すると公表。
 - ・6分野の86指標を順位付けした日本の都市ランキング（東京のシンクタンク調査）で、大阪市が3年連続トップ。経済、交通の分野で高評価。



大阪での取り組みの今

最近のトピックスを紹介

- 「楽園信州移住セミナー」(7/8: シティプラザ大阪)
⇒ 「移住したいと思ったら～何から始めればいいのか?～」をテーマに信州くらしの魅力を伝えるセミナーと個別相談会を開催、20組29名が参加、会場定員に早々と達するなど、行動制限がなくなり移住へ向けて動き出した方が多かった。移住先としての信州の人気の高さも伺えた。参加者アンケートでは、地域を選択する条件として、自然環境や気候、住宅の有無などを挙げる方が多く、後日早速、現地を訪問した方もいた。



●「梅田ゆかた祭 2023 うめだいろ縁日」(7/22-23 : JR 北新地駅曽根崎地下歩道)

⇒梅田の町が色とりどりのゆかた姿でいっぱいになる。「梅田の夏の風物詩」を目指して2012年から始まったお祭り。「うめだいろ縁日そねちか会場」に長野県も出展、風車で飾り付けたインスタ映えスポットには、くまモンも登場、家族連れやカップルなどで賑った。



●「北陸新幹線敦賀延伸・長野誘客PRキャラバン (メディア・旅行会社等)」

(7/22 メディア : 京都市 7/24-26 : 大阪市・福井市)

⇒来年2024年春、北陸新幹線の金沢～敦賀間の延伸開業と大阪・関西万博を見据えた観光誘客のため、観光部・観光機構が京都・大阪・福井でメディアや旅行会社をキャラバン訪問。

大阪-長野間が1時間短縮、3時間10分で結ばれる。糸魚川・上越妙高・飯山・上田・佐久平・軽井沢などの駅をハブとした信州観光や滞在プラン、白馬・松本・木曽・諏訪などの周遊ルートなどの期待も大きく。関西2,000万人のマーケットにしっかりアクセスしていくことを確認。

【メディア】

長野県永久観光大使 峰竜太 氏をPRキャラバン隊長として、京都のメディアをジャック、京都のテレビ・ラジオに生出演、夕方の報道ニュースでも取り上げられ、地元の京都新聞の取材も受けるなど、注目を集めて信州をしっかりPRした。



【旅行会社】

大手旅行会社6社を訪問、商品造成を依頼。様々な意見も頂いた。(以下例)

- ・ 関西の方にとって、山岳や高原の圧倒的な自然、清涼なイメージなど信州は憧れの地。
- ・ 信州には修学旅行やスキー以来行ってない、どう行けばよいのか解らないという方も多い。
- ・ 軽井沢・白馬・車山などの長期滞在(5~7泊)プランが人気になっている。
- ・ 関西からはこれまで行きにくかった上田・小諸・佐久などの東信方面のツアーも手がけたい。
- ・ 北陸新幹線で長野・中央線で松本、名古屋経由で信州を周遊するプランにも注力したい。
- ・ 二次交通が課題、交通手段を含めて現地でどんな楽しみ方を提案出来るかがポイント

●「伊丹松本便就航イベント」(8/1 : 大阪国際空港 (伊丹))

~8月1か月限定でJAL信州まつもと⇔大阪(伊丹)線が就航、初日の便に合わせて、空港でJAL、J-AIRと連携して信州の観光PRを実施、アルクマが搭乗ゲートで写真撮影会とお見送り。上高地や美ヶ原・ビーナスラインに出かける家族連れなど、初便はほぼ満席。



